



2019年4月17日

(毎週水曜日発行)

<http://www.nsci.co.jp>

発行所：(株) NSC 佐賀市日の出1丁目16-19

TEL 0952・97・9643 FAX 0952・97・9647

2019年度研究成果発表会

斜面災害復旧の難工事の経験も

透保水性舗装工法の普及

日本建設技術(株)グループ

日本建設技術(株) (原裕社長、本社：唐津市北波多) グループの2019年度(第16回)研究成果発表会が13日、唐津シーサイドホテルで開催された。来賓やグループ企業の社員ら約180人が出席。同社の18年度の活動実績と親杭パネル工法を用いた道路災害復旧工事の施工事例が発表された。併せて成績優秀社員と資格取得者の表彰や新入社員の紹介の後、来賓との懇親会などで新年度に向け気持ちを新たにした。



挨拶する原社長



研究発表会の様子

シヨンをアップさせ、会社の経営力アップにつなげていってほしい」とあいさつした。

続いて、県選出国會議員など来賓のあいさつがあり、原社長と同社の松本哲哉グループ長が18年度に取り組んだ経営課題や成果、また災害復旧の難工事の経験について発表した。

まず原社長が『2018年度のあゆみ及びFWG・透保水性舗装工法』の演題で発表。FWG・透保水性舗装工法は、吸水性のあるミラクルソルを使った環境土木工法のひとつ。保水材として、夏場の路面の温度を17度程度抑える効果が確認されている。原社長は「猛暑の中で行われる東京オリンピックで採用してもらえれば」とゼネコンや中央官庁などへも営業活動を続けている。

続いて、同社建設事業部の松本哲哉グループ長が『親杭パネル工法を用いた道路災害復旧工事の施工事例』の演題で発表。急峻な宮崎県東臼杵郡諸塚村の村道斜面復旧工事に携わった経験を分かりやすく説明し、昨年10月の第21回斜面防災対策技術フォーラム'18in 神戸で優秀発表賞を受賞した。急峻な地形で大型トラックやクレーンが搬入できないため仮設構台を設置し、4種類105枚のコンクリートパネルを据え付け、アンカーで固定した。講評を行った加藤久・加藤合同国際特許事務所長は「異常気



成績優秀者の社員表彰

冒頭、原社長は「毎年、新入社員へはビジネスのスキルアップと仕事の全体像を捉え、段取りを磨く力を教えるように指導している。何事にも疑問を持って接していると、想像力がついてくる。わが社には、ミラクルソルというオンリーワンの技術がある。ミラクルソルを使っの新しいアイデアや工法を提案してもらいたい。各々が目標を持ち、コミュニケー

象で今後、増々災害の多発が予想されるなか、こうした難しい現場での経験により、活躍の場が増えていくのでは」と述べた。

第2部の懇親会では、社員や来賓の国會議員や県市會議員などが出席。同社の田中慎一郎専務の挨拶の後、和やかに懇談した。

【4月15日 HP 掲載】